

寺領小学校 だより

Jiryo elementary school
文真 校長



立春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続きます。二月はたびたび雪が積もり、保護者の方にお迎えに来ていただいた日もありました。また、地域の皆様にはすぐに通学路等の除雪をしていただき、改めて、保護者や地域の皆様の温かさを感じているところです。

さて、今年度も残すところあと一か月ほどとなりました。六年生は、中学校へ向けた準備を進めるとともに、「卒業プロジェクト」をがんばっています。また、六年生が思い出し胸に卒業できるよう、五年生を中心に「六年生を送る会」の準備が着々と進んでいるところであります。体調を崩す人が増えてきて心配していますが、みんなが元気で、いい締めくくりができることを願っています。

先日の学校公開日には、たくさんの方にお出かけいただきました。PTA総会では各部の取組をご



味噌を販売した収益は、卒業プロジェクトに活用します。



4年生は、プレゼン資料の作成がすっかり上手になりました。



5年生は、ポン菓子販売の収益で松江へ出かけ、山陰中央テレビの見学などをしました。



今年もおいしい豆腐ができました。

報告いただきました。役員の皆様をはじめ、子どもたちのために様々な活動に尽力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。六年生の保護者の方の中には、これで寺領小学校PTAから離れる方もいらっしゃいますが、今後変わらりませぬ、温かいご支援をいただけたらと思います。これまで、本当にありがとうございました。



雲南市立寺領小学校

〒699-1322 島根県雲南市木次町寺領 612
TEL0854-42-0529 FAX0854-42-0572

HP <https://shimane-school.net/unnan/jiryo-sho/>
E-mail jiryo-sho@unnan.ed.jp



令和6年度学校評価より

児童、保護者、教職員を対象に行った今年度の学校評価について、保護者の皆様にはたいへんお世話になりました。保護者の皆様からはおおむね肯定的な評価をいただきました。ただ、

*教職員のとらえとの間にずれがある項目

*肯定的な評価が9割に達しない項目

については、改善の余地がまだまだあると受け止めています。

先日のPTA総会でも話題とさせていただきましたが、特に『子どもたちの主体性』につい

ては重点を置いて、さらに伸ばしていく必要を感じています。そのために、

①子どもたちが、自分の暮らし方をより豊かに工夫できるようにすること

②教職員が子どもたちとさらに向き合えるようにするとともに、これからの時代に求められる力をつけるための授業力を高めることなどを大切にしながら、来年度の取組を検討していきたいと考えています。

皆様のお力をお借りすることも多々あるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者評価が高い項目	教職員	保護者
ふるさと教育（食と農）で充実感を感じている		
地域とのつながりを大切にしている		
基礎的内容定着の手立が効果をあげている		
自ら考え、表現する力がついてきている		
家庭学習が習慣化している		
一人一人が認められ自信・達成感を感じている		
仲間意識やリーダー性が育ってきている		
基本的な生活習慣が定着してきている		
情報発信が適切に行われている		

保護者評価が低い項目	教職員	保護者
学習意欲をもち主体的に学習をしている		
進んで読書をしている		
目標に向かい努力している		
運動(遊び)に進んで取り組んでいる		
学校は保護者・地域との連携を図っている		
学校は児童の実態を適切に把握し理解している		
学校は授業の工夫を行っている		

みんな違うでも私たちはひとつ

3学期は、「多文化共生教室」「福祉学習」「留学生さんとの交流」など、多様性について考える学習をたくさん行っています。

今年度の「多文化共生教室」では、インドネシアから島根大学医学部に留学しておられるファティマさんに来ていただきました。「スイットゥ」というじゃんけんで楽しく交流したり、外国で生活していくのには「言葉」「制度」「心」の3つの壁があるということを教わったりしました。

また、「ビンネカ・トゥンガル・イカ(みんな違うでも 私たちはひとつ)」という言葉をお教いただきました。インドネシアには言葉や文化・習慣が違う島がたくさんあるそうです。違いを認め、お互いを大切にしてくらすインドネシアの人たちから学ぶべきことは、たくさんあるのだらうと感じた一日でした。



3年生は「スイットゥ」で盛り上がりました！